



# 深山たかし

発行元：深山たかし後援会  
上尾市大字上1774-7  
048(776)0575  
ホームページ

fukayama.net

”深山たかし”でも閲覧できます。

## 議会レポート

### 図書館工事見直し

#### 市長が表明「財政の大きな負担」

畠山稔市長は十四日、前市長が進めていた新市立図書館本館の建設工事計画について、見直しを行うことを表明した。

市議会六月定例会の一般質問で、畠山市長は、「約三十九億円とされる新図書館建設の総事業費や、年間約四億円と見込まれる維持管理費が財政の大きな負担になる」と説明。計画について「再開でもなく、中止でもなく、見直しさせていただけたい」と述べた。請負業者はすでに決まっていたが、島村前市長の逮捕後の昨年十月から、工事が一時中止されている。畠山市長は今後の建設予

定地の利用について、「市民に喜んでいただける施設を検討していきたい」とした。  
(六月十五日読売新聞より抜粋)

#### 【市長答弁の詳細】

●これまで新図書館施設について議会が関連議案を議決してきたことについて、市長はどのように考えているか。

#### 【答弁】

これまで新図書館施設について議会が関連議案を議決してきたことについて、新図書館複合施設整備事業の關係予算や工事請負契約締結などの議案は、議

会において慎重な審議をいただき、ご議決をさせていただきましたものであり、議会に身を置いてきた経歴を持つ私としても、議会の議決は大変重いものであると認識しています。新図書館建設に係るこれまでの議決は大変重く受け止めています。

#### 検討内容について

ですが、私は、市長就任以降、これまでの経緯や現状を把握するため、庁内でのヒアリングを実施し、不明な点の解消に努めてきました。また、市内の図書館本館や分館・公民館図書室を巡回するとともに、他市の図書館を視察も行ってきました。

#### このほか、現整備事業の推進を要望する団体の方や見直しを求める団体の方からご意見を伺ってききました。

さらに、市全体の財政状況を踏まえたうえ

で、新図書館を含む今後の様々な施設の整備や維持・管理の経費見込みなどにも意を配してきました。

以上の検討を踏まえまして、私は、この事業にうきまして、工事再開でもなく、中止でもなく、現在の計画を見直しさせていただきたいと考えています。

#### 図書館本館は、上平

ではなく、当面現在の本館のままとし、上平の土地は、地権者の方々にご理解をいただき、過去において市が取得したものでありますことから、これはしっかりと活用させていただくべきと考えています。

#### このような判断に至った理由ですが、

一点目としては、市財政に与える影響があります。具体的には、ランニングコストが、現本館では年間約二・三億円であるのに対し、新図書館複合施設では一・六



工事が見直される新図書館複合施設

億円増の年間約三・九億円と現在見込んでいます。

新複合施設の耐用年数を五十五年とすると、その間の維持管理の費用は、単純計算で約二百十億円となります。

また、現段階での総事業費の見込みは約三十八億円ですが、事業を再開するに当たっては、資材の価格上昇などにより約一億円の経費上昇が見込まれ、約三十九億円という総事業費が見込まれます。

建設費と維持管理費を合わせました建物の

ライフサイクルコストは、およそ二百五十億円となります。

なお、この金額には途中の修繕費は入っておりません。

私は、選挙公約の中に、市財政の立て直しも掲げさせていただきましたが、この二百五十億円、特に毎年度の維持管理費三・九億円は、市債など特定財源の活用が期待できる施設整備費とは異なり、一般財源により賄うこととなりますことから、大きな負担になると考え、見直しが必要ではないかと判断したところです。

これまで、新複合施設のランニングコストを議会にお示しができなかったことについては、説明責任が充分に果たされてこなかったものと受け止めていきます。

理由の二点目として、

上平の土地につきましても、地権者の方々にご理解・ご協力をいただいたうえで、市が取得させていただいたものであります。

これを活用せず、そのまま放置しておくという選択肢はありません。

地域の特性を踏まえ、市民の方々に喜んでいただけるような施設を検討していきたいと思えます。

理由の三点目として、他市の図書館を視察しましたが、図書館本館は街の中心部にあるのが自然であると考えたからです。

冒頭説明の通り、新図書館建設は、これまで議会の議決で進められてきたものであり、このことは大変重いものであると私は認識しています。

●請負業者への対応について

【答弁】

現在、工事の中止期間が六月を経過しておりますので、契約約款に基づき、受注者側からの損害賠償の請求が可能となっております。

市側、受注者側の双方の協議の上で合意を図っていくこととなりますので、誠意を持って対応していきたいと考えています。

●地権者や地域の方々の思いに対する市長の考え

【答弁】

上平の土地は、所有者の方々にお願いをして、買収をさせていただいたものです。

これをそのまま放置しておくことはできないものであり、しっかりと活用したいと考えています。

この土地には、上尾

市の公共施設マネジメントを踏まえたうえで、図書館分館機能を含む、地域住民の方にも活用していただける複合施設として整備する方向で今後検討していきたいと思えます。

具体的には、今後、議会でのご意見を頂きながら、検討していきたいと考えています。

●上尾市の図書館行政の明確なビジョンについて

【答弁】

図書館本館は当面現在の位置でということをお示ししましたが、今後、図書館本館及び分館を含む図書館全体のサービスのあり方を考える中で、幅広く検討していきたいと考えています。